
essais こころみ 2018年9月

2018/9/1～9/3 今年もチェジュへ

例年の行事でチェジュへいった。盛り土のお墓にぼうぼうと生えた草を親戚一同で刈ってきれいにしていく作業。昔は夜明け前から夜遅くまでかかったという言う。

きょうだいで参加するようになって12年。ほぼ毎年参加するこの間に、お墓の近代化が進み、今年は朝7時すぎから分散して始めて、10時すぎには終わった。

1日の午前11時前にチェジュ空港でタクシーに乗り、一旦ホテルへ寄って荷物をおいて、一番近い親戚の家へ挨拶に行く。タクシーの運転手がおじさんの場合は、必ず話しかけてくる。

空港で客待ちしている人だから少し日本語が話せる人が多い。まずはじめに、日本からか？と聞いてくる。観光か？と次に聞いてきて、「ポルチョ」のために来たと答えると、驚かれる。

「ポルチョ」とはお墓の草取りのこと。当地でもしない人が増えているのに、わざわざ日本から！と感心されるのだ。そんなこんな話をしながら、“今年も無事に来られたなあ”。

空港からタクシーで40分ほど、海岸ぞいの親戚宅の目印は、この大きな樹。大昔からあったそう。



2日（日）7時前ごろ、青い屋根がいかにもチェジュ。



台風が去った後で、海も空もまだすっきり晴はしなかった。



3日（月） 「ポルチョ」も無事おわり、翌日は2013年以来訪ねている「観音寺」へ。日本からのもってきた煎餅とチェジュ特産の「みかん」を供えた。



帰りの飛行機は午後7時半発。たっぷり時間があるので、改装されたという「東門市場」へ。



すべての日程を終えて9日夜遅く家へ着いた。チェジュへ行く前から台風21号の進路は直撃コースが予測されていた。今回もし日程が一日後だったら、チェジュで足止めになったろうし、関空に着いて台風が来ていたなら、大変な目に合うところだった。

かれこれ12年も「ポルチョ」へ行っているけど、悪天候で「ポルチョ」ができなかったということが一度もない。今回も時々ふる霧雨が暑さをやわらげてくれたほど。今年は仕事の都合でこの9月1日にしたのだけど、この日でよかった。先祖のご加護かもしれない。

2018年9月7日（金） 曇り 台風直撃、北海道で震度7

あっという間に9月も一週間がすぎた。例年の親戚行事に参加するため1日の土曜から3日の月曜にかけてチェジュへ行った。日程が一日遅かったら、閑空で足止めになったところ。もともと4日は別の用意で臨時休の予定だったが、台風直撃で何もできずじまいだった。そして、次は地震。今回あらためて「ハザードマップ」や防災の冊子をちゃんと見ておこうと思った。いつも見えるところに置き直した。

-五感覚と学びの関係考①-思考の散歩を

本当に独立してよかったと時々思う。よくもわるくも自分次第の状況におかれて、わが身を思い知る。おかげで、身の程もわかれば、自分ならではの面もわかって、不遜ながら、“なかなかイケてるじゃない”と自負。

仕事柄、自分で仕事をやっている人、やろうとする人に出会うことが多い。そういう人たちとの交流の中で最近ちょっと気づいたことがあるので、9月「五感覚と学びの関係」をテーマに考えてみようと思う。

わたし自身のことも含め、思考の散歩をすらしよう。

2018年9月15日（土） クレオ大阪東館 『プロ講師になろう塾challenge!』プレゼン

今年の最終プレゼンはお天気に恵まれた。発表者の中にバルーンアートの人が出て、自分の発表の準備も大変だったろうに、この日のために演壇の両サイドを飾ってくれた。



今年の塾は、12月のフェスタへの参加も盛り込まれている。例年のフェスタに本塾受講者のコーナーが用意されるので、その説明を聞く受講者のみなさん。



2018年9月19日（水） 晴れ時々曇り

朝晩、涼しくなった。昨日も今日もノドがざらつく。空気がかなり乾燥している。そういう季節になった。

9月は例年私用が重なり、何かと立て込む。9月もはや下旬に入る。今年は秋分と十五夜が続く。彼岸花の咲いているのはまだ見ていない。十五夜の夜のお天気はどうだろう。

-五感覚と学びの関係考②-みて, とる

最近ますます気になっていること、それは、人が人を見て何かを読みとる能力、それが相対的に低下しているのでは、ということ。

初めに気になりだしたのは10年ほど前のこと。個別コンサルを頼まれて、紹介者と一緒にやってきた若い女性起業家の例。紹介者は旧知の間柄、わたしが合っていると判断してマッチングしたのだったが、初回のヒヤリング面談で、そのあとは無しになった。

知人がその理由を話してくれた。キツク言われたのが嫌だったというのだ。キツク?! 場面を思い出して、わたしはいつもと変わらないけど…。少し情けない気持ちになった。

語気は強くても、表情や言い回しなどから、本当に自分のことを思って真剣になっているかいないか、その差が読みとれないのではないか、ひよっとすると。そういう人が増えているのではないか、もしかすると。

実際にそうだとしたら、自分を育む機会を自分から逃しているともいえる。意地悪で耳障りなことを言う人と、相手を思って耳の痛いことをいう人の違いを、見分けられないのは、モッタナイ。

相手の全体像、表情、しぐさ、声の調子などから直感的に本質を見抜く。これは「社会的知性」の一つの要素、そのために一定の場数は必要なはず。さあ、顔をあげよ、人をみよう、と車内の光景に内なる声。

とはいえ、こういうことも、本格AI社会への過渡期のたわごとか。

2018年9月25日（火）四天王寺

旧暦8月15日、十五夜の朝は、旧暦の元日と同じように法事をする。
その後、大きな座敷机にお供え物を並べた後、お墓参りに行き、帰ってきてから、拝礼する。

お墓参りの時艱が早かったので、お花の用意ができなかった。翌日もう一度お墓へ行って、お供えをした。その帰りに散歩をした。ずいぶん涼しくなったので、その気になった。

ぶらり、ぶらり。ゆっくりとした足どりで、天王寺から四天王寺、四天王寺から上本町まで歩いた。夏の間、ほとんど歩いていないので、少々疲れたけど、体重は少し減っていた。

